

動物の毛皮に触ってみよう

— アイヌ民族と北方民族の毛皮利用を知る・触る —

寒いときに身体を守ってくれるもの、その一つが毛皮です。毛皮は、動物の種類や部位によって触り心地やあたたかさが大きく異なります。また、地域によっても様々な使い方があります。今回のイベントでは、北海道、シベリア、カナダ、グリーンランドなど各地の毛皮と毛皮利用、その背景にある民族交流の歴史について紹介します。

2023年 5月27日(土), 28日(日)

会場：ウポポイ 10:00-16:00

【展示】毛皮に触ってみよう

場所：博物館1階 交流室

時間：各日10:00-16:00（入退室自由）

カナダ、グリーンランド、北海道などから集めた約30種類の毛皮に触れます。講師と話をしながらその歴史や地域の特徴について学びましょう。



【体験】アザラシを捕まえてみよう

場所：チキサニ広場（荒天時は博物館1階 交流室）

時間：各日12:00-13:00（開始10分前に整理券配布）

猟具の模型を使ってアザラシ（ぬいぐるみ）の捕獲に挑戦してみましょう！体験は整理券をお持ちの方が対象。見学は自由です（小学生以下は保護者同伴）。



【講座】館長のお話を聞こう

場所：博物館1階 交流室

時間：各日14:00-15:00

北方諸民族の罾猟や交易研究の第一人者である国立アイヌ民族博物館館長・佐々木史郎が毛皮の魅力を語ります。定員50名程度（当日先着順）。



主催

ウポポイ（民族共生象徴空間）、北極域研究加速プロジェクト（ArCS II）沿岸環境課題、北海道立北方民族博物館

開催場所

ウポポイ（民族共生象徴空間） ※別途、入場料が必要となります。

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3 電話: 0144-82-3914